

## 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

### I. 専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、受験する選考方法および研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で第1志望の志望区分を選択すること。なお、各志望区分の教員の連絡先については、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に問い合わせること。

#### (1) 社会基盤工学専攻

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2025 年 4 月現在)	対応する教育プログラム	
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分 を選択すること ができます。
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（山本貴士教授・高谷哲准教授）		
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価、鋼構造物の維持管理と耐久性向上（北根安雄教授）	応用力学分野、人間 安全保障工学分野	
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（八木知己教授・松宮央登准教授）		
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、構造デザイン、構造物の更新技術（高橋良和教授）		
6	水理環境ダイナミクス：移動床水理学、混相流の力学、群集挙動の力学、開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、破堤の水理（原田英治教授・音田慎一郎准教授）	人間安全保障工学分 野	
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（立川康人教授・金善孜准教授）		
8	地盤力学：地盤や岩盤の静的・動的挙動の解明、計算地盤力学、土と流体の相互作用、土と建設機械の相互作用、岩盤斜面の安定性評価、歴史的地盤構造物の保全（肥後陽介教授・橋本涼太准教授・Zhu, Fan 准教授）		
9	社会基盤創造工学：車両-橋梁連成系の構造動力学、橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスマニタリング、移動橋梁点検、スマートセンシングシステム、走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（金哲佑教授・張凱淳准教授）		
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市空間の3次元データの生成と時空間解析（須崎純一教授）		
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチャ、風土・景城環境、地域計画、都市形成史（川崎雅史教授・山口敬太准教授）		
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のマイクロモデル（後藤仁志教授・五十里洋行准教授）		
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（福山英一教授・武川順一准教授）		

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2025 年 4 月 現在)	対応する教育プログラム	
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留、放射性廃棄物処分、エネルギー資源開発等の岩盤工学プロジェクトへの貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究（奈良禎太准教授・保田尚俊准教授）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
15	計測評価工学：資源開発に関わる岩盤構造物や地下環境の保全のための計測評価技術、石油・天然ガスおよび鉱物資源の環境調和型開発技術、CCSやCCUSなどのカーボンニュートラルに貢献する技術（村田澄彦教授）		
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明（中谷加奈教授・山野井一輝准教授・高山翔揮准教授）		
17	防災水工学：洪水流と河床変動の3次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全（川池健司教授・竹林洋史准教授）		
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明（渦岡良介教授・上田恭平准教授）		
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程（山口弘誠教授）		
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリング、ハザード・リスク評価および観測、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価（森信人教授・馬場康之准教授・志村智也准教授）		
21	防災技術政策：リアルタイム洪水予測、地球温暖化・土地利用変化が及ぼす流域水循環への影響評価、降雨流出・洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定（佐山敬洋教授・田中智大准教授・Lahournat, Florence 講師）		
22	水際地盤学：河海の水災害メカニズム、水際域の土砂動態、河川・沿岸環境の保全技術、水理流体力学、先進実験水理学（山上路生教授）		
23	計算科学：地盤の変形・破壊のシミュレーション、土壌汚染・浄化のシミュレーション、地盤と構造物の相互作用、大規模・高速科学技術計算、AI・機械学習を用いた計測技術の開発、解析検証のための各種試験（菊本統教授）		

## (2) 都市社会工学専攻

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2025 年 4 月 現在)	対応する教育プログラム	
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)
26	構造物マネジメント工学：構造物の劣化メカニズム、状態診断と機能回復、高性能材料・低環境負荷材料の物性値及び部材の耐荷性能と耐久性性能 ※今年度、本区分は募集無し	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学（古川愛子教授）		
28	河川流域マネジメント工学：流域水動態の理解と予測、水災害リスク管理、土地利用と住まい方を含めた河川流域マネジメント（市川温教授）		
29	土木施工システム工学：地下空間の開発と利活用、不連続性岩盤の力学的・水理学的挙動、地盤材料の力学-水理-熱-化学連成問題、エネルギー生成後の副産物処理に関する先端的アプローチ、地盤と構造物の動的・静的相互作用（岸田潔教授・澤村康生准教授）		
30	ジオフロントシステム工学：岩盤を対象とした熱・水理・力学・化学連成現象のモデル化、パイオグラウト開発、斜面防災モニタリング・センシング、海底地すべり・津波励起メカニズム、海底地盤工学（安原英明教授・岩井裕正准教授）		

志望 区分	研 究 内 容 (担当教員) (2025 年 4 月現在)	対応する教育プログラム	
		連携プログラム (融合工学コース)	連携プログラム (高度工学コース)
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高压条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数値モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング（林為人教授・石塚師也講師）	人間安全保障工学分野	任意の志望区分を選択することができます。
32	計画マネジメント論：社会資本政策、民営化や公共調達制度などのインフラ産業論、リスク・ガバナンス、プロジェクト・マネジメント、災害レジリエンス政策、ソーシャル・キャピタル（大西正光教授・中尾聡史）		
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論、都市交通計画（宇野仲宏教授・松中亮治准教授）		
34	都市基盤システム工学：国土計画、都市論、都市再生・保全、都市強靱化、地理空間情報やデジタル都市基盤の利活用、都市解析・調査分析論（大庭哲治教授）		
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータを利用した交通マネジメント、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（山田忠史教授・Qureshi, Ali Gul 准教授）		
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、公共政策のための計量経済学、実践的社会科学研究、公共交通とシェアードモビリティシステム、クラウドソースデータを用いた交通・観光需要モデリング（藤井聡教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授・川端祐一郎准教授）		
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数値地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（小池克明教授・柏谷公希准教授）		
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（後藤浩之教授）		
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（田中賢治教授・萬和明准教授）		
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（堀智晴教授）		
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、住民参加型地域防災、災害リスクコミュニケーション（松田曜子准教授）		
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（Kantoush, Sameh Ahmed 教授・小林草平准教授）		
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（五十嵐晃教授・米山望准教授）		

## Ⅱ．募集人員

2025 年度 10 月期入学：

社会基盤工学専攻 若干名

都市社会工学専攻 若干名

2026 年度 4 月期入学：

社会基盤工学専攻 17 名

都市社会工学専攻 17 名

※入学時期を 2025 年度 10 月期あるいは 2026 年度 4 月期のいずれかから選択すること。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。インターネット出願システム上で、2025 年度 10 月期入学と 2026 年度 4 月期入学のいずれかを選択すること。

## Ⅲ．出願資格

### (1) 一般学力選考

- ・本募集要項の各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）「Ⅱ－i 出願資格」に定められた出願資格を有する者。

### (2) 社会人特別選考

- ・「募集要項」「Ⅱ－i 出願資格」および「Ⅱ－vi 社会人特別選抜について」に定められた出願資格を有する者。

### (3) 論文草稿選考

- ・大学院の修士課程を修了した者、あるいは「募集要項」「Ⅱ－i 出願資格（6）」に該当する者を対象とする、博士学位論文草稿及び研究業績の審査による選考試験。社会人も対象とする。博士学位論文草稿は、研究がある程度完成しており 1 年程度で学位論文が提出可能なものとする。

### (4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

- ・募集要項「Ⅱ－i 出願資格」に定められた出願資格を有し、外国人留学生と認められる者のうち、融合工学コース「人間安全保障工学分野」のみを志望する者。

【注】連携プログラム（高度工学コース、融合工学コース）の 5 年型在学学生を対象とした学力審査の詳細については別途指示する。

## Ⅳ．学力検査日程

選考方法により以下の通り実施する。口頭試問の時刻・場所など、詳細は別途通知する。

### (1) 一般学力選考

月日	時間 試験科目	試験室
7 月 31 日（木）	9:00～ 口頭試問Ⅰ、Ⅱ	桂 C1 棟 171、117 号室 他
8 月 1 日（金）	9:00～ 口頭試問Ⅰ、Ⅱ	桂 C1 棟 171、117 号室 他

### (2) 社会人特別選考

月日	時間 試験科目	試験室
7 月 31 日（木）	13:00～15:00 小論文	桂 C1 棟 117 号室
8 月 1 日（金）	9:00～ 口頭試問	桂 C1 棟 171、117 号室 他

(3) 論文草稿選考

月 日	時間	試験科目	試験室
8 月 1 日 (金)	9:00～	口頭試問	桂 C1 棟 171、117 号室 他

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問の試験日時および試験室については別途通知する。

○学力検査に関する注意事項

- ・ 試験開始時刻 15 分前までに試験室前に集合すること。口頭試問の場合は、受験者控え室に集合すること。
- ・ 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
- ・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
- ・ 小論文の試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。なお、必要に応じて試験時間内に全員に電卓を貸与することがある。
- ・ 口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。
- ・ 口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

V. 入学試験詳細

(1) 一般学力選考

英語、口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより可否を判定する。

(a) 英語 (200 点/1000 点) : TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。英語を母国語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母国語とする旨の宣誓書」(様式-D4) を提出してもよい。「英語を母国語とする旨の宣誓書」が提出された場合、口頭試問Ⅱにおいて英語力の判定を行う。

(b) 口頭試問Ⅰ (400 点/1000 点)

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について 30 分程度の口頭試問を行う。

(c) 口頭試問Ⅱ (400 点/1000 点)

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う (発表とあわせて 30 分程度)。

(2) 社会人特別選考

小論文と口頭試問により可否を判定する。

(a) 小論文 (500 点/1000 点)

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について問う。

(b) 口頭試問（500 点/1000 点）

これまでの研究内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(3) 論文草稿選考

博士学位論文の草稿の審査と口頭試問により可否を判定する。

(a) 草稿審査

審査委員長および他の 2 名の審査委員が、選考試験実施日までに博士学位論文の草稿の審査を行う。

(b) 口頭試問（1000 点）

博士学位論文の草稿、研究経過およびこれまでの研究業績に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(4) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱにより可否を判定する。

(a) 口頭試問Ⅰ（500 点/1000 点）

受験者の修士課程の研究内容等に関連する分野を中心として、その基礎学力について 30 分程度の口頭試問を行う。

(b) 口頭試問Ⅱ（500 点/1000 点）

修士課程で研究している、あるいは今まで研究した内容、および博士課程での研究計画に関する試問を行う。

パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 15 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 30 分程度）。

(5) 社会基盤工学専攻または都市社会工学専攻修了見込み者の試験科目免除について

社会基盤工学専攻または都市社会工学専攻を修了見込みの者のうち、成績が優秀な者は口頭試問Ⅰを免除する。

連携プログラム（高度工学コース、融合工学コース）の 5 年コース在学の者は、英語と口頭試問Ⅰを免除する。

(6) 有資格者及び合格者決定法

(a) 一般学力選考

口頭試問Ⅰが 240 点以上、かつ口頭試問Ⅱが 240 点以上、かつ総得点が 600 点以上の者を有資格者とする。

(b) 社会人特別選考

小論文が 300 点以上で、かつ口頭試問が 300 点以上の者を有資格者とする。

(c) 論文草稿選考

草稿審査に合格し、かつ口頭試問が 800 点以上の者を有資格者とする。

(d) 融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考

口頭試問Ⅰが 300 点以上で、かつ口頭試問Ⅱが 300 点以上の者を有資格者とする。

(e) 有資格者の中から合格者を決定する。

## VI. 出願要領

### (1) 別途提出書類について

#### (1-1) 論文草稿選考以外の受験者

全ての受験生（論文草稿選考の受験者を除く）は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

##### (a) 書類提出期限

2025 年 6 月 11 日（水）午後 5 時（必着）

##### (b) 提出先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系 入試担当） TEL：075-383-2967

##### (c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

- 希望選考届・別途提出書類届（様式-D1）
- 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書 5 部（A4 紙 10 頁以内。様式-D2 に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくは署名が必要）
- 一般学力選考受験者は、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書（TOEFL の場合は紙媒体の提出は不要、後述の「英語の学力評価について」参照）、または英語を母国語とする旨の宣誓書（様式-D4）
- 何らかの理由で、TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（博士・英語）」と朱書した封筒で、2025 年 7 月 18 日（金）午後 4 時必着で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系 入試担当）に提出しなければならない。
- 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式-D5）

### ○英語の学力評価について

- ・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2023 年 8 月 1 日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに提出または郵送（書留便）すること。2025 年 7 月 18 日（金）午後 4 時以後は受け付けないので注意されたい。

#### <TOEIC>

- ・ 公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

#### <IELTS>

- ・ 追加成績証明書（紙媒体）が期日までに社会基盤・都市社会系 入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

#### <TOEFL>

- ・ Institutional Score Report が期日までに社会基盤・都市社会系に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、社会基盤・都市社会系の Institution Code は「C092」である。また、Institutional Score Report の社会基盤・都市社会系への到着に関する問い合わせには回答しない。
- ・ TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT

Home Edition スコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

- ・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。

### (1-2) 論文草稿選考の受験者に対する書類審査について

論文草稿選考試験を受験する者は、下記の書類を提出すること。

- (a) 書類提出期限：Ⅵ. (1-1) と同じ。
- (b) 提出先：Ⅵ. (1-1) と同じ。
- (c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）
  - 博士学位論文草稿審査願（様式－D3）
  - 博士学位論文の草稿 4 冊
  - 研究歴書 4 通
  - 研究業績リスト 4 通
  - 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－D5）

### (2) 事前コンタクトについて

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、博士後期課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と希望指導教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。

### (3) 口頭試問の発表指導について

志願者が口頭試問の発表指導を希望指導教員から受けることを妨げない。発表指導においては、口頭試問において志願者が説明しようとしている研究計画が、事前コンタクトで確認した内容と一致するように指導する。

## Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には 2 種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。なお、融合工学コース「人間安全保障工学分野」外国人留学生特別選考により合格した場合には、選択できるプログラムは、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）「人間安全保障工学分野」に限られる。

- 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）  
応用力学分野、人間安全保障工学分野
- 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）  
社会基盤工学専攻、都市社会工学専攻

## Ⅷ. 教育プログラムの内容について

### 【融合工学コース】

「募集要項」の「X. 博士後期課程入学後の教育プログラムについて」を参照すること。

### 【高度工学コース】

#### ○社会基盤工学専攻

新たな産業と文明を開き、環境と調和して、安心・安全で活力ある持続可能な社会を創造するためには、人類が活動する領域とそこにある社会基盤構築物を対象とした技術革新が欠かせません。社会基盤工学専攻では、最先端技術の開発、安全・安心で環境と調和した潤いのある社会基盤整備の実現、地下資源の持続的な利用に重点を置き、社会基盤整備を支援する科学技術の発展に貢献します。



そのために、地球規模の環境問題とエネルギー問題を深く理解し、国際的かつ多角的な視野から新たな技術を開拓する工学基礎力、さらに実社会の問題を解決する応用力を有する人材を育成します。すなわち、1) 工学基礎に基づく最先端科学技術の高度化、2) 自然災害のメカニズム解明と減災技術の高度化、3) 社会インフラの統合的計画・設計技術とマネジメント技術の高度化、4) 発展的持続性社会における地下資源エネルギーの利用、5) 低炭素社会実現に向けた諸問題解決に対し、高度かつ先端的な基盤研究、実社会の諸課題に即応する応用技術研究を通して、深い工学基礎力を有する国際的な研究者・技術者を育成します。

#### ○都市社会工学専攻

高度な生活の質を保証し、持続可能で国際競争力のある都市システムを実現するためには、都市システムの総合的なマネジメントが欠かせません。都市社会工学専攻では、地球・地域の環境保全を制約条件として、マネジメント技術、高度情報技術、社会基盤技術、エネルギー基盤技術などの工学技術を統合しながら、社会科学、人文科学の分野を包含する学際的な視点から、都市システムの総合的マネジメントの方法論と技術体系の構築を目指します。

そのために、社会科学、人文科学の分野を含む総合的かつ高度な素養を身につけた、高い問題解決能力を有する人材を育成します。すなわち、1) 都市情報通信技術の革新による社会基盤の高度化、2) 高度情報社会における災害リスクのマネジメント、3) 都市基盤の効率的で総合的なマネジメント、4) 国際化時代に対応した社会基盤整備、5) 有限エネルギー資源論に立脚した都市マネジメントに対し、実践的かつ学際的な研究を通して、都市システムの総合的マネジメント能力を身につけた、国際的リーダーとなる研究者・技術者を育成します。

### IX. その他

#### ○入学試験説明会

入学試験に関する説明会の開催を予定している。

日時・場所等の詳細は、社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻ウェブサイトに掲載する。

ウェブサイト：

- ・社会基盤工学専攻：<https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>
- ・都市社会工学専攻：<https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/>

#### ○社会情勢の変化への対応について

社会情勢の変化に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認すること。

#### ○問い合わせ先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛

(社会基盤・都市社会系 入試担当) TEL：075-383-2967

※The Japanese language version of the information provided here is to be given precedence.

## Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management (Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management)

Entrance examinations for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management will be jointly conducted, and applicants can select the preferred department and professors from either department.

### I. Study Areas

Applicants can refer to the list of study areas below, choose an area for special study during their doctoral research and indicate the first choice on the screen of Kyoto University Online Application. Prior to application, applicants must have contacted the preferred supervisor to discuss the research plan, and select the first choice of study area. Inquiries regarding the contact information for faculty members should be addressed to C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management).

#### (1) Department of Civil and Earth Resources Engineering

17) Department of Civil and Earth Resources Engineering			
Area No.	Research Topic (Faculty in Charge)  (as of April 2025)	Educational Programs	
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
1	Applied Mechanics: Particle-based computational fluid dynamics, fluid-structure interaction, turbulence modeling, mechanical stabilization of undersea tunnels, development and application of the rigid plastic finite element method (Assoc. Prof. Abbas Khayyer, Assoc. Prof. Jun Saito)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
2	Structural Materials Engineering: Properties of structural materials including concrete, durability, maintenance, scenario design of civil infrastructures including concrete structures (Prof. Takashi Yamamoto, Assoc. Prof. Satoshi Takaya)		
3	Structural Mechanics: Structural behavior of steel/composite structures and their rational design, nondestructive evaluation of residual performance of structures, maintenance and durability improvement of steel structures (Prof. Yasuo Kitane)	Applied Mechanics and Human Security Engineering	
4	Bridge Engineering: Bridge aerodynamics, wind-induced instabilities, flow-induced vibrations, aerodynamic countermeasures, wind resistant design, transportation and adhesion of airborne salt particles, wind-induced disasters (Prof. Tomomi Yagi, Assoc. Prof. Hisato Matsumiya)		
5	Structural Dynamics: Dynamic response of structures and their control, base isolation, seismic resistant design, structural design, metabolism of structure (Prof. Yoshikazu Takahashi)		
6	Environmental Hydrodynamics: Sediment transport, multiphase flow dynamics, crowd dynamics, fundamental theory of open channel flows, river bed deformation and river channel processes, hydraulics on dike breaching (Prof. Eiji Harada, Assoc. Prof. Shinichiro Onda)	Human Security Engineering	
7	Hydrology and Water Resources Research: The hydrologic cycle, hydrologic prediction, real-time hydrologic forecasting, hydrologic design, water resources management (Prof. Yasuto Tachikawa, Assoc. Prof. Sunmin Kim)		
8	Geomechanics: Investigation of static and dynamic behaviors of geomaterials, computational geomechanics, soil-fluid interaction, soil-construction machinery interaction, stability evaluation of rock slopes, conservation of historic earth structures (Prof. Yosuke Higo, Assoc. Prof. Ryota Hashimoto, Assoc. Prof. Fan Zhu)		
9	Infrastructure Innovation Engineering: Structural dynamics on vehicle-bridge interaction, environmental vibrations caused by bridge vibrations, bridge health monitoring, drive-by bridge inspection, smart sensing system, seismic performance of viaduct under traffic (Prof. Chul-Woo Kim, Assoc. Prof. Kai-Chun Chang)		
10	Geoinformatics: Remote sensing, geographic information systems, digital photogrammetry, generation of 3D data in urban areas and spatial-temporal analysis (Prof. Junichi Susaki)		
11	Urban and Landscape Design: Landscape design, urban design, architecture of infrastructure and environment, cultural climate and environment, regional planning, urban history (Prof. Masashi Kawasaki, Assoc. Prof. Keita Yamaguchi)		
12	Urban Coast Design: Design and planning of urban coastal structures, particle method, computational wave dynamics, computational fluid dynamics, computational mechanics of sediment transport, computational mechanics for multiphase flow, crowd and multi-agent simulation in urban areas (Prof. Hitoshi Gotoh, Assoc. Prof. Hiroyuki Ikari)		
13	Geophysics: Geophysical exploration of shallow to deep crustal structures, geophysical modeling of geological phenomena that influence human activities, visualization of subsurface geophysical properties (Prof. Eiichi Fukuyama, Assoc. Prof. Junichi Takekawa)		
14	Earth Crust Engineering: Mechanical property and fluid flow in rock to contribute to various rock engineering projects such as carbon capture & storage (CCS), radioactive waste disposal, and development of energy and mineral resources (Assoc. Prof. Yoshitaka Nara, Assoc. Prof. Naotoshi Yasuda)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas

Area No.	Research Topic (Faculty in Charge)  (as of April 2025)	Educational Programs	
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
15	Measurement and Evaluation: Measurement and evaluation technology for maintenance of rock structures and underground environment related to resources development, environment-friendly development technology for oil, natural gas, and mineral resources, technology that contributes to carbon neutrality such as CCS and CCUS (Prof. Sumihiko Murata)		
16	Sediment Control Engineering: Controlling sediment in mountain-river-coast systems, prediction and monitoring of sediment dynamic states in mountainous areas, developing methods to decrease damage from sedimentation disasters, evaluating the impact of sediment transport on the ecosystem (Prof. Kana Nakatani, Assoc. Prof. Kazuki Yamanoi, Assoc. Prof. Shoki Takayama)		
17	Hydrosience and Hydraulic Engineering: Three dimensional structure of flood flow and bed form, prediction of sediment yield and its influence on flood, observations and experiments on sediment transport phenomena, mechanism of river dyke breach, simulation of urban inundation and stormwater drainage, interdisciplinary hydraulics-ecology and hydrodynamics (Prof. Kenji Kawaike, Assoc. Prof. Hiroshi Takebayashi)		
18	Geotechnics for Hazard Mitigation: Damage estimation of geotechnical structures after large earthquakes, combined geo-disaster induced by rainfall and earthquake, behavior of geotechnical structures made of composite materials (Prof. Ryosuke Uzuoka, Assoc. Prof. Kyohei Ueda)		
19	Hydrometeorological Disasters Engineering: Global climate change impact assessment on precipitation field, precipitation forecasting, radar hydrology, remote sensing by spaceborne precipitation radar, analysis and forecast of water and heat circulation in urban area, formation process of river basin (Prof. Kosei Yamaguchi)		
20	Coastal Disaster Engineering: Modeling, hazard and risk assessment, and observation of extreme storm surges, storm waves and tsunamis, Climate change impacts and adaptation on coastal hazards, Interaction between atmospheric, ocean and waves (Prof. Nobuhito Mori, Assoc. Prof. Yasuyuki Baba, Assoc. Prof. Tomoya Shimura)		
21	Innovative Disaster Prevention Technology and Policy Research: Realtime Flood Prediction, Impact assessment of climate and land use changes on hydrologic cycle, rainfall-runoff and flood inundation analysis, development of strategic approaches to prevent water-related disasters (Prof. Takahiro Sayama, Assoc. Prof. Tomohiro Tanaka, Jr. Assoc. Prof. Lahournat, Florence)		
22	Waterfront and Marine Geohazards: Hydro-hazards, sediment transport in waterfront, coastal and riverine environmental protection, hydraulics and fluid mechanics, advanced experimental hydraulics (Prof. Michio Sanjou)		
23	Computational science: Simulation of ground deformation and failure, simulation of soil contamination and remediation, soil-structure interaction analysis, large-scale and high-speed scientific computing, development of measurement technologies utilizing AI and machine learning, and various experiments for analysis validation (Prof. Mamoru Kikumoto)		

## (2) Department of Urban Management

Preferred Research Area	Research Subjects (Faculty in Charge)  (as of April 2025)	Applicable courses	
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
26	Structures Management Engineering: Deterioration mechanism of structures, condition diagnosis and functional recovery, mechanical properties of high-performance steels and environment-friendly concrete <u>*No admissions for this category, this year</u>	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
27	Earthquake and Lifeline Engineering: Earthquake engineering, disaster prevention engineering, seismic risk management (Prof. Aiko Furukawa)		
28	River System Engineering and Management: Understanding and forecasting of catchment water dynamics, flood risk control, watershed land use management (Prof. Yutaka Ichikawa)		
29	Construction Engineering Systems: Development and public use of tunnel and underground space, mechanical and hydromechanical of fractured rock, mechanical-hydromechanical-thermal-chemical coupling process and its modeling on rocks and soils, advanced approach of the geo-sequestration of energy byproducts, dynamic/static soil-structure interaction (Prof. Kiyoshi Kishida, Assoc. Prof. Yasuo Sawamura)		
30	Geofront-System Engineering: Modeling of coupled thermal-hydraulic-mechanical-chemical-chemical phenomena for rocks, development of biogROUT, monitoring and sensing of slope disaster prevention, tsunami generation mechanism caused by submarine landslide, offshore geotechnical engineering (Prof. Hideaki Yasuhara, Assoc. Prof. Hiromasa Iwai)		
31	Earth and Resource System: Determination of in situ stress in ocean and continental deep drillings, measurements of rock physical properties under high pressure and high temperature conditions, wellbore stability for oil and gas developments, mathematical modeling of a geothermal system, visualization of subsurface phenomenon by InSAR (Prof. Weiren Lin, Jr. Assoc. Prof. Kazuya Ishitsuka)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas
32	Infrastructure Planning and Management Theory: Planning and management systems: Infrastructure policy, infrastructure industry including privatization and public procurement systems, risk governance, project management, disaster resilience policy, social capital (Prof. Masamitsu Onishi, Assoc. Prof. Satoshi Nakao)		

Preferred Research Area	Research Subjects (Faculty in Charge)  (as of April 2025)	Applicable courses	
		Integrated Master's- Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's- Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
33	Urban and Regional Planning: Urban planning, urban policy, public transportation policy, urban transportation planning (Prof. Nobuhiro Uno, Assoc.Prof. Ryoji Matsunaka)		
34	Urban Management Systems: National land planning and infrastructure management, urban studies, urban regeneration and conservation, urban resilience, utilization of geospatial information and digital urban infrastructure, urban analysis and survey research (Prof. Tetsuharu Oba)		
35	Intelligent Transport Systems: Optimization of transport and logistics systems, traffic and transport management using big data and integrated transport, reliability analysis of transport network, experimental approach to traffic engineering (Prof. Tadashi Yamada, Assoc. Prof. Ali Gul Qureshi)		
36	Travel Behavior Analysis: Public psychology, social dilemmas, econometrics for public policy, practical social science research, public transport and shared mobility systems, transportation and tourism demand modelling with crowdsourced data (Prof. Satoshi Fujii, Assoc. Prof. Jan-Dirk Schmöcker, Assoc. Prof. Yuichiro Kawabata)		
37	Environmental Geosphere Engineering: Distribution analyses of mineral, water, and energy resources using remote sensing and mathematical geology; reservoir evaluation for storage properties of crustal gases and fluids; and assessment and spatio-temporal modeling of crustal environments from shallow to deep depths (Prof. Katsuaki Koike, Assoc. Prof. Koki Kashiwaya)		
38	Dynamics of Foundation Structures: Earthquake engineering, engineering seismology, seismic design, soil-structure interaction, seismic performance of structures, innovative structure to resist seismic vibrations (Prof. Hiroyuki Goto)		
39	Regional Water Environment System: Comprehensive environmental dynamics model, integrated water resources management, assessing the impact of climate change on flood and drought (Prof. Kenji Tanaka, Assoc. Prof. Kazuaki Yorozu)		
40	Water Resources Engineering: Water resources systems management, global water dynamics, modeling of human response to water hazards, prevention and mitigation of water-related disasters (Prof. Tomoharu Hori)		
41	Disaster Risk Management: Methodology of disaster risk analysis and assessment, community-based and participatory disaster management, and disaster risk communication (Assoc. Prof. Yoko Matsuda)		
42	Environmental Disaster Mitigation Management: Risk management of water resources, integrated management of sediment routing systems, biodiversity conservation, ecosystem management in river basins (Prof. Sameh Ahmed Kantoush, Assoc. Prof. Sohei Kobayashi)		
43	Urban Flood Control: Compound urban disasters, dynamics of fluid-structure coupled systems, structural design for extreme events, dynamic response control, assessment and maintenance of deteriorating urban facilities, urban flood disaster, hydraulics of water-related disasters, water disaster prevention for underground space, tsunami disaster prevention (Prof. Akira Igarashi, Assoc. Prof. Nozomu Yoneyama)		

## II. Enrollment Capacity

October 2025 Admission:

Department of Civil and Earth Resources Engineering: A few  
Department of Urban Management: A few

April 2026 Admission:

Department of Civil and Earth Resources Engineering: 17 persons  
Department of Urban Management: 17 persons

\*Choose their admission date from October 2025 or April 2026. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose October 2025 Admission or April 2026 Admission on the Kyoto University Online Application.

## III. Eligibility requirements for applicants

(1) General academic selection:

- Refer to “II-i Eligibility”, common requirements in all departments, in this guideline “Guidelines for Applicants to the October 2025 • the April 2026 Doctoral Program 【October 2025 • April 2026 Admission】 (Including Special Selection of career-track working student)” (“this guideline” hereinafter).

(2) Special selection of career-track working students:

- Refer to “II-i Eligibility” and “II-vi Special Selection of Career-Track Working Applicants” in this guideline.

(3) Selection by draft doctoral dissertation:

- This selection will examine the draft of a doctoral dissertation or research results for those who have completed a master's program at graduate schools or those who fall under the conditions set in “II-i Eligibility (6)” on this guideline. Nonstudents (working applicants) may also apply. The draft of a doctoral dissertation should be in a state where research has been mostly completed and ready to be submitted as a thesis within around 1 year.

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”

- Applicants who qualify for “II-i Eligibility” in this guideline, and are deemed international students, and wish to choose only the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”.

[Note] Details regarding academic evaluation for the students of the integrated master's-doctoral course (Advanced Engineering Course, Interdisciplinary Engineering Course) will be notified separately.

## IV. Examination Schedule

The following are the schedules for each selection method. The detail information such as timing and venue of oral examinations will notified separately.

(1) General academic selection

Date	Time, Examination subjects	Room
Thursday, July 31	9:00~, Oral Exam I, II	Room 171, 117, etc., C1 Bldg., Katsura
Friday, August 1	9:00~, Oral Exam I, II	Room 171, 117, etc., C1 Bldg., Katsura

(2) Special selection of career-track working students

Date	Time, Examination subjects	Room
Thursday, July 31	13:00~15:00 Short essay	Room 117, C1 Bldg., Katsura
Friday, August 1	9:00~, Oral Exam	Room 171, 117, etc., C1 Bldg., Katsura

(3) Selection by draft doctoral dissertation

Month Date	Time, Examination subjects	Room
Friday, August 1	9:00~, Oral Exam	Room 171, 117, etc., C1 Bldg., Katsura

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering"

The date and room for the oral examination will be notified separately.

○ Examination Instructions

- Be sure to come to the examination room no later than 15 minutes before the examination starts. For oral examinations, be sure to come to the waiting room for applicants.
- Be sure to bring your examination voucher with you and follow the instructions of the proctor and other staff.
- Refrain from taking your mobile phone or other electronic devices into the room. If you take those electronic devices into the room, turn off the power, keep the devices in your bag and put your bag in the designated place. If you carry those electronic devices with you, you could be deemed to conduct fraudulent act.
- Be sure to turn off the alarm functions of watches.
- Writing tools for short essays are limited to pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners, and erasers. Calculators may be lent to all during the examination hours, as necessary.
- Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations of the oral examinations. Since we do not provide PCs, please bring your own PC. However, we do not allow any use of electronic devices for purposes other than presentations.
- When changing schedules for oral examinations, we notify relevant parties in advance.

**V. Details of Entrance Examinations**

(1) General academic selection:

Decisions on passing or failure will be determined based on English proficiency, Oral Exam I and II.

(a) English proficiency (score 200/1000):

To be evaluated based on TOEFL, TOEIC, or IELTS. Applicants whose native language is English can submit the "Letter of English Proficiency Statement" (Form D4) in replacement of official score certificates. If "Letter of English Proficiency Statement" is submitted, English proficiency will be evaluated at Oral Exam II.

(b) Oral Exam I (score 400/1000):

A 30-minute oral examination will be conducted to examine basic knowledge in areas related to the applicants' master's program research and others.

(c) Oral Exam II (score 400/1000):

Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their master's program research or their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(2) Special selection of career-track working students:

Decisions on passing or failure will be based on the short essay and Oral Exam.

(a) Short essay (score 500/1000):

Basic knowledge in areas related to the applicants' master's program research and others will be examined.

(b) Oral Exam (score 500/1000):

Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(3) Selection by draft doctoral dissertation:

Decisions on passing or failure will be based on examination of the draft doctoral dissertation and Oral Exam.

(a) Examination of draft doctoral dissertation:

The chair examiner and two other examiners will examine your draft doctoral dissertation by the examination date.

(b) Oral Exam (score 1000):

Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their progress of research and past research achievements. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(4) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering”

Decisions on passing or failure will be based on Oral Exam I and II.

(a) Oral Exam I (score 500 / 1000):

A 30-minute oral examination will be conducted to examine basic knowledge in areas related to the applicants' master's program research and others.

(b) Oral Exam II (score 500/1000):

Applicants should prepare a presentation (within 15 minutes in length) on their master's program research or their past research and research plans for the doctoral program. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (total of about 30 minutes, including time for presentations).

(5) Exemption of examination subjects for Students Expected to Graduate from the Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management

For applicants who are expected to graduate from the Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management in March 2025 and get good marks, they will be exempt from Oral exam I.

For applicants who are taking Postgraduate Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course/Interdisciplinary Engineering Course), they will be exempt from English proficiency and Oral exam I.

(6) Examination Criteria

(a) General academic selection:

Applicants who score 240 or above for Oral Exam I, 240 or above for Oral Exam II and score a total of 600 points or above will qualify.

(b) Special selection of career-track working students:

Applicants who score 300 or above for the short essay and 300 or above for oral examinations will qualify.

(c) Selection by draft doctoral dissertation:

Applicants who pass the screening of their draft dissertation and score 800 points and above for the oral examination will qualify.

(d) Special selection of international students for the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering,”

Applicants who score 300 or above for Oral Exam I and 300 or above for Oral Exam II will qualify.

(e) Successful applicants will be decided from among the applicants who satisfy the above criteria.

## VI. Instructions on Application for Admission

### (1) Additional Required Documents

#### (1-1) Applicants for selection other than by draft doctoral dissertation:

Aside from documents submitted to the Graduate School of Engineering, Katsura Campus, B Cluster, Administration Complex, all applicants (apart from those applying through draft doctoral dissertations) must submit the following documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) or in person to C Cluster, Graduate Student Section. Please be aware that some documents require time for preparation.

(a) Deadline for submission of documents:

No later than 5:00 PM. on Wednesday, June 11, 2025

(b) Submit to:

615-8540 Katsura, Kyoto University, Nishikyo-ku Kyoto  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management).  
TEL: 075-383-2967

(c) Additional Required Documents:

(Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)

- Selection of the entrance examination classification and checklist of necessary documents (Form D1)
- Five copies of Statement of Research Activity and Study Plan written in Japanese or English (A4-sized paper, within 10 pages). Fill up necessary items on Form D2 and use it as a cover paper. Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary.
- For those applying through general academic selection, submit a paper version of official score certificate of TOEIC or IELTS (In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See “Assessment of English Ability”). For the native speakers of English, “Letter of English Proficiency Statement (Form D4)” is acceptable. If applicants can’t submit the official score certificate of TOEIC or IELTS by the above-mentioned deadline, they should submit these documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to Cluster C, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management) by 4:00 PM on Friday, July 18, 2025. Envelopes should be marked with “Document for Admission (Master/English)” in red ink.
- Statement of Course Selection (Form D5)

○ Assessment of English Ability

- English ability will be evaluated on the basis of your TOEIC, IELTS or TOEFL scores (these tests must be taken after August 1, 2023). Either of the following specified documents is to be submitted or sent by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to “C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University” by the due date. Please note that no applications will be accepted after 4:00 p.m. on Friday, July 18, 2025.

<TOEIC>

- A printed “Digital Official Score Certificate” is acceptable as well as Official Score Certificate. In both cases, these score certificates must be submitted in paper form. We only accept official TOEIC Listening & Reading test. Please note that score certificates for group examinations such as TOEIC IP are invalid.

<IELTS>

- Applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online is not acceptable.

<TOEFL>

- Applicants need to make a request to ETS (Educational Testing Service in USA) to send your Institutional Score Report to our departments (Institution Code: C092) no later than the due date. Note that we do not accept any inquiry concerning arrival of Institutional Score Report.
- We only accept TOEFL-iBT (Internet-Based Test). Either TOEFL iBT Paper Edition or TOEFL-iBT Home Edition are not acceptable. TOEFL MyBest Scores are not accepted. Please note that score certificates for group examinations such as TOEFL-ITP are invalid.
- Successful applicants will be disqualified if submitted documents are later found to be fraudulent.

(1-2)Assessment of documents of applicants applying through draft doctoral dissertations:

Those who are applying through draft doctoral dissertations need to submit the following documents.

(a) Submission deadline is same as VI. (1-1).

(b) Submit to is same as VI. (1-1).

(c) Other documents to be submitted:



(Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.)

- Request for Screening for doctoral draft thesis (Form D3)
- Four copies of draft doctoral dissertation
- Four copies of research history
- Four copies of a list of research achievements
- Statement of Course Selection (Form D5)

## (2) Prior Contact

In the prior contact, the preferred supervisor will judge whether or not the learning / research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the preferred supervisor. Furthermore, in order to facilitate learning and research activities after admission to the doctoral program, the research plan will be clarified before application through discussions between the applicant and the preferred supervisor.

## (3) Guidance on Presentation for Oral Examination

It does not prevent applicants from receiving the oral examination presentation guidance from their preferred supervisor. In the presentation guidance, the research plan that the applicant will explain in the oral examination will be instructed so that it matches the content confirmed in the prior contact.

## VII. Selecting your course after enrollment

Two types of courses are available after entry to the doctoral program. The courses below can be taken upon passing of entrance examinations for category “Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management.” If applicants pass through the special selection for international students for the Interdisciplinary Engineering Course “Human Security Engineering,” only the Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) “Human Security Engineering” can be selected.

- Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)  
Applied Mechanics and Human Securing Engineering
- Integrated Master’s-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)  
Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management

## VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to “X. Educational Programs in Doctoral Program” of this guideline.

[Advanced Engineering Course]

- Department of Civil and Earth Resources Engineering:

To develop new industries and foster new cultures and to realize safe, secure, and active a sustainable urban society, in harmony with the environment, it is essential to promote technological innovation in areas of human activities, particularly public infrastructure structures. The Department of Civil and Earth Resources Engineering aims at realizing the development of cutting-edge technologies as well as safe and secure enhanced public infrastructures that is in harmony with the environment and sustainable use of underground resources. It aims to contribute to the development of scientific technologies that support building public infrastructures.

For this, we develop talents with a good understanding of global-scale issues of environment and energy as well as those who have the basic competence in engineering science to develop new technologies from global and multilateral viewpoints and the skills to apply the learnings to solve the real-world problems. The department aims at furthering the students’ capabilities in engineering science and equipping them with sophisticated world-class skills and an ability to apply them to solve the problems of the real world through advanced, leading-edge research on infrastructure and applied-technology research for the real-world problems by identifying and solving key issues in the following five areas: 1. Advancement of leading-edge technologies based on engineering science; 2. Elucidation of natural disaster mechanisms and improvement of disaster-mitigation technologies; 3. Enhancement of integrated planning and design technologies for public infrastructure and its management; 4. Utilization of underground resources energy for the sustainable development of society; and 5. Provision of solutions for the realization of a low-carbon society.

- Department of Urban Management:  
Comprehensive urban management is required to guarantee a high-level quality of life and establish sustainable and globally competitive urban systems. The Department of Urban Management aims at developing methodologies and engineering systems for the comprehensive management of urban systems under the condition of protecting global/regional environments. From an interdisciplinary perspective that encompasses social sciences and humanities, it aims to integrate engineering technologies such as management technologies, advanced information technologies, public infrastructure technologies, and energy structure technologies.  
We develop talents with advanced all-round potentials and advanced problem-solving capabilities in areas including social sciences and humanities. To develop international leader researchers/technicians with comprehensive management skills for urban systems through practical and interdisciplinary research in the following areas: 1. Advancement of public infrastructure through the innovation in urban communication and information technology, 2. Disaster risk management in the advanced information society, 3. Comprehensive and efficient urban infrastructure management, 4. Development of public infrastructure that meets the demand of globalization, and 5. Urban management based on the limited resources theory.

## IX. Other

- Explanatory Meeting Regarding Entrance Examinations:  
We plan to hold an explanatory meeting regarding entrance examinations.  
We will post details on dates, time, and venue on the website of the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management.  
  
Website:  
- Civil and Earth Resources Engineering Department: <https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/en/>  
- Urban Management Department: <https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/en/>
- Special Measures for Response to Changes in Social Conditions :  
Due to changes in social conditions, the entrance examination and test details are subject to change. When change is made, information will be posted on the websites of the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management. Be sure to check the latest information.
- Inquiries:  
615-8540 Katsura, Kyoto University, Nishikyo-ku, Kyoto  
C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University  
(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management).  
TEL: 075-383-2967